

学級：2年2組 授業者：照沼 純

主題名 あいてのことを思って【親切、思いやり】

教材名 「ぐみの木と小鳥」

お話のあらすじ

ぐみの木は、このごろ姿を見せないりすを心配していた。それを聞いた小鳥は、ぐみの実を持ってりすの様子を見に行く。病気で寝てたりすは、もってきてもらったぐみの実を食べた。

次の日も小鳥は、ぐみの実を持ってりすのところへ行った。しかし、その次の日はあらしになっていた。小鳥はあらしの中、力を振り絞ってりすのところへたどりつく。りすは「もうすぐ、ぐみの木さんに会えそうです。」と言い、小鳥にお礼を言う。

朝になり、小鳥はぐみの木のところへ行き、りすの様子を伝える。ぐみの木は「ご親切は、いつまでも忘れません。」とお礼を言う。やがて小鳥はぐみの木に別れをつげて飛び去っていく。

授業で大切にしたいこと

子供の本音を引き出すための問い合わせと、学習場面に応じて、話し合い活動の形式を工夫し、友達の多様な考え方や思いに触れる機会をつくっていきます。（例）ペアトーク、クラストーク、お散歩トーク 等

ご家庭で話し合っていただきたいこと

お子様に「友達に親切にしたこと」「友達に親切にしてもらったこと」を聞いてみてください。また、おうちの方の経験をお話いただくことも、お子様にとって貴重な時間となります。